

【494】

令和4年6月

博多港（中央ふ頭沖～箱崎ふ頭沖）浚渫整備に伴う 航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、博多港中央ふ頭沖から箱崎ふ頭沖の水域施設（航路・泊地、-12m）の浚渫整備施工時における航行船舶および工事作業船の航行安全対策について調査・検討した。

調査・検討にあたっては、潜水探査作業と浚渫工事の施工計画を基に、自然環境および海上交通の実態と可航水域の関係などの航行環境を整理し、必要な課題を抽出して安全性の検討を行った。

安全性の検討では、先ず港内の航行環境と利用状況を確認して潜水探査作業と浚渫工事における作業範囲について検討した。本整備工事における作業範囲は、中央航路を經由して中央ふ頭、東浜ふ頭及び箱崎ふ頭の各ふ頭に入出港する船舶の航行経路となっていることから、AISの航跡データや各ふ頭に入出港する船舶の航跡や最大船型の回頭操船水域を確認した結果、一部が整備海域に重なっており入出港操船に影響があることが確認された。そこで、主に水深と喫水の関係から航行経路を離れることができない比較的大型の船舶の入出港操船状況、船体コンディションと気象状況等を考慮して、作業区域ごとに工事作業船が退避すべき対象船舶を検討した。

2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 委員会等
- (3) 整備計画
- (4) 航行環境
- (5) 工区ごとの安全性の検討、航行安全対策